

ロボットと未来、あなたの思いを文科省へ

現在、オリンピック・パラリンピック2020を契機とした将来像について、文部科学省があなたの思いを募集しています。現在募集されているテーマは「ロボットと未来」です。

それに合わせて、私たちPESTI（=ペスティ）プロジェクトは、文部科学省へあなたの思いを届ける企画（対話型パブコメ）を行っています。このアンケートにおこたえいただければ、文部科学省 科学技術・学術政策局 研究開発基盤課にあなたの思いをお届けします。記入に要する時間は5分程度です。回答内容は、個人が特定されないかたちで公表させていただくことがありますので予めご了承ください。

本企画実施のPESTI（=ペスティ）プロジェクトおよび、対話型パブコメについてはこちらのWebサイトをご覧ください。

→ [PESTIWebサイト](#)

→ [「対話型パブコメのススメ」パンフレット](#)

[アンケートへ進む»](#)

下記のシナリオを読んでどう感じられたか、いずれかを選択して下さい。

※シナリオはすべてフィクションです。登場する人物・シチュエーション等は、実在のものとは関係ありません

Q.1 【シナリオ1】

<人より多くなるロボット>

2020年、ここ東京ですら、10年前より随分若者がいなくなった気がする。3人に一人がAさん（35歳、女性）の父親と同年代かそれ以上の高齢者。高齢者の数以上に街にはロボット技術が満ち溢れ、もともとそれほどハイテクに強くないAさんにはいささか“お腹がいっぱい”でハイテク食傷気味と感ずることがある。確かに自動化技術で交通事故は減り、工場では労働力不足は解消されつつある。高齢化社会は日本が直面する最大の危機であることは理解できている。でもロボット技術で人々は、高齢者はもちろん、若者も幸せになったのだろうか？日本は元気になったのだろうか？技術の進歩の速度に人々の暮らし・幸せが追い付いていないような気がする。Aさんは感じている。

Aさんが人よりロボットが多くなった社会に対してこのように感じたことについて、あなたはどのように思いますか？

賛同できる

賛同できない

Q.2 【シナリオ2】

<職業を奪うロボット>

Bさん（55歳、男性）には、28歳になる息子がいる。息子は将来、プロサッカー選手になる夢を持っていたが、高校にあがるころには、才能が無いとプロになる夢を諦めた。しかし、サッカーへの夢を諦めきれず、今は‘サッカーの審判’として働いている。仕事を始めて5年、最近ではロボットによる精度の高い審判システムが導入され、選手や観客からは好評であるが、審判という職業の失業者が年々増加している。息子は審判の夢すら絶たれてしまうのか？息子の将来が不安でならない。こんなことならロボット審判など導入されなければ良かったのでは？とBさんは考えた。

Bさんがこのようにロボット審判が導入されなければ良かったと考えることについて、あなたはどのように思いますか？

賛同できる

賛同できない

選択肢から1つ選んでください。

Q.1 科学・技術に関心がありますか？

- 1. とても関心がある
- 2. 関心がある
- 3. 関心があるともないとも言えない
- 4. 関心がない
- 5. 全く関心がない
- 6. わからない

Q.2 科学・技術に関する情報を積極的に調べることはありますか？

- 1. はい
- 2. いいえ
- 3. わからない

Q.3 過去、科学・技術に関する情報を調べた際に、探している情報を見つけることができましたか？

- 1. 見つけられた。大抵、その内容は容易に理解できる。
- 2. 見つけられた。しかし、ほとんどの場合、その内容を理解することは難しい。
- 3. 見つけられなかった。ほとんどの場合、探している情報は見つけられない。
- 4. わからない

Q.4 あなたにとって重要な科学・技術の問題についての政策形成に対して、あなた個人はどの程度の影響力をもっていると思いますか？

- 1. 大きな影響力をもつ
- 2. ある程度の影響力をもつ
- 3. あまり影響力をもたない
- 4. 全く影響力をもたない
- 5. わからない

次の5つの項目のうち、あなたは何が科学技術イノベーションを促進すると思いますか。それぞれについて1つずつお答えください。

*科学技術イノベーションとは、科学的な発見や発明等による新たな知識を基にした知的・文化的価値の創造と、それらの知識を発展させて経済的、社会的・公共的価値の創造に結び付ける革新のことだと考えてください。

Q.1 規制緩和

- 1. とても促進する
- 2. やや促進する
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり促進しない
- 5. 全く促進しない
- 6. わからない

Q.2 科学教育

- 1. とても促進する
- 2. やや促進する
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり促進しない
- 5. 全く促進しない
- 6. わからない

Q.3 だれにでもわかりやすい科学技術情報伝達

- 1. とても促進する
- 2. やや促進する
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり促進しない
- 5. 全く促進しない
- 6. わからない

Q.4 国民から国へ意見を伝えること

- 1. とても促進する
- 2. やや促進する
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり促進しない
- 5. 全く促進しない
- 6. わからない

Q.5 科学技術イノベーションで大きく成功した企業が増加すること

- 1. とても促進する
- 2. やや促進する
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり促進しない
- 5. 全く促進しない
- 6. わからない

ロボットと未来、あなたの思いを文科省へ

あなたについてお聞かせください。

Q.1 あなたの性別は何ですか？

- 1. 男性
- 2. 女性

Q.2 あなたは何歳代ですか？

Q.3 あなたのご職業を教えてください。

ロボットと未来、あなたの思いを文科省へ

最後にお尋ねします

Q1 少子高齢化社会をむかえる日本において、自分や家族の生活の質（QOL）を向上させるため、あなたの生活の中でどんなことを「ロボット」の手を借りてでも解決したいですか？

*ここでいう「ロボット」はロボティクス、ネットワーク双方を含む広い意味でのロボットを指し、自動掃除機のルンバ、スマートフォン、iPhoneのSiri、Pepper（ペッパー）などをも含みます。

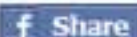
Q2 上記で答えた課題を解決するために本当に「ロボット」が導入されるとしたら、あなたはどのような抵抗感や不安を感じますか？

*ここでいう「ロボット」はロボティクス、ネットワーク双方を含む広い意味でのロボットを指し、自動掃除機のルンバ、スマートフォン、iPhoneのSiri、Pepper（ペッパー）などをも含みます。

ロボットと未来、あなたの思いを文科省へ

ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました。

 Share このパブリックコメントアンケートをfacebookでシェア

ウィンドウを閉じて終了してください。[閉じる]